



第34号

福岡県筑紫中央高等学校同窓会機関誌 2004.11.25 発行人 岡 久凱 事務局 大野城市中央2丁目12-1

同窓会新役員決まる！

福岡県立筑紫中央高等学校同窓会役員(常任理事)名簿

役職	回生	氏名	郵便番号	住所	電話番号
会長	高全 9	岡 久凱	818-0059	筑紫野市塔原東1-12-1	092-924-6886
副会長	女 29	陶山 雪代	818-0104	太宰府市通古賀5-18-33	092-922-4593
	高全 4	渡辺美智子	818-0125	太宰府市五条2-5-18	092-922-3922
	高全 14	永田 義信	818-0104	太宰府市通古賀67-2	092-924-5881
	高全 15	和田 健作	816-0906	大野城市中2-11-22	092-503-5088
事務局長	高全 18	鬼塚 春光	816-0923	大野城市雑餉隈町5-1-20	092-581-0111
	高全 20	秋吉 正一	818-0061	筑紫野市紫1-28-15	092-925-7373
庶務担当	高全 11	山本 芳昭	811-3123	古賀市米多比1520	092-946-3044
常任理事	高全 23	関井 利夫	816-0911	大野城市大城3-9-16	092-503-2123
財務担当	高全 6	川原 幸枝	816-0952	大野城市下大利2-5-3-502	092-501-9471
	高全 21	高橋 裕司	816-0983	大野城市月の浦4-23-25	092-596-0837
常任理事	女 19	鬼倉 公代	818-0134	太宰府市大佐野1-9	092-923-4038
	女 20	藤 智恵	811-1313	福岡市南区日佐1-4-12	092-581-1294
	女 30	中村 君枝	818-0101	太宰府市観世音寺1-8-23	092-923-0823
	高全 4	村上 弘	818-0117	太宰府市幸府1-4-13	092-922-3948
	高全 5	大坪 寿雄	818-0118	太宰府市石坂3-16-1	092-922-6304
	高全 6	白水 敏	816-0822	春日市ちくし台3-3-1	092-501-3110
	高全 6	久保 悦子	818-0125	太宰府市五条1-16-8	092-925-1495
	高全 8	野口 功	818-0025	筑紫野市筑紫693-8	092-926-1515
	高全 8	木村 厚生	818-0055	筑紫野市塔原501-5	092-925-7100
	高全 9	本田 重幸	818-0047	筑紫野市大字古賀42-22	092-925-4646
	高全 10	松島 康雄	816-0943	大野城市白木原4-7-21	092-582-6226
	高全 11	馬渡 文隆	811-2201	粕屋郡志免町桜丘2-14-8	092-936-0888
	高全 12	高良 英征	816-0972	大野城市平野台1-7-16	092-596-2888
	高全 13	久保山 昇	818-0051	筑紫野市二日市797	092-923-1904
	高全 14	古野由美子	818-0105	太宰府市都府楼南3-5-17	092-923-6679
	高全 15	河野 宏範	819-1123	前原市大字神在515-4	092-324-2934
	高全 16	岡部 征紘	816-0906	筑紫野市桜台2-15-1	092-921-5393
	高全 17	木村 敏美	818-0117	太宰府市幸府1-2-30	092-922-4277
	高全 18	大神きくえ	818-0047	筑紫野市古賀188-6	092-922-6998
	高全 19	黒岩 敏行	815-0036	福岡市南区筑紫ヶ丘1-17-36-405	092-512-2444
	高全 20	田代 邦夫	818-0072	筑紫野市二日市中央1-7-18	092-924-1201
	高全 21	香野 善明	816-0922	大野城市山田4-8-52	092-591-7006
	高全 22	伊藤 徳明	811-2207	粕屋郡志免町南里186-1	092-936-2519
	高全 23	中村 稔	816-0931	大野城市筒井3-2-15	092-573-2569
	高全 24	田畑 邦男	816-0805	春日市千歳町3-31-51	092-581-0598
	高全 25	中野 雅彦	816-0094	福岡市博多区諸岡4-34-13	092-591-4189
	高全 26	見城 俊昭	816-0905	大野城市川久保2-7-19	092-503-8289
	高全 27	伊藤 詠子	816-0904	大野城市大池1-14-9	092-503-0180
	高全 28	徳永 正次	815-0082	福岡市南区大楠1-18-1-601	092-526-8764
	高全 29	野中 良治	816-0854	春日市下白水北3-36	092-592-2858
	高全 30	楳木 孝一	818-0032	筑紫野市西小田334-2	092-926-5683
	高全 31	森山 徳浩	816-0844	春日市上白水北790-1-804	092-585-8839
	高全 32	井上 史孝	811-2208	粕屋郡志免町吉原95-1	092-936-9351
	高全 33	下佐古崇司	810-0033	福岡市中央区小笹1-18-12-205	092-525-2004
	高全 34	畑村 俊樹	816-0082	福岡市博多区麦野3-1-3-302	0427-25-3579
	高全 35	浜本 正道	818-0133	太宰府市坂本68-13	092-924-6063
高全 36	井手 健二	811-1365	福岡市南区皿山3-1-8-203	092-541-5640	
筑友会支部	高全 14	田中 清和	818-0043	筑紫野市むさしヶ丘2-9-5	092-928-5122
太宰府支部	高全 4	村上 弘	818-0117	太宰府市幸府1-4-13	092-922-3948
東京支部	高全 5	岡部 文雄	194-0044	東京都町田市成瀬2154-87	0427-25-3579
関西支部	高全 4	高柳 晴彦	666-0116	兵庫県川西市水明台4-2-19	0729-93-1582
監事	高全 15	飯田恵津子	811-1211	筑紫郡那珂川町今光4-67	092-953-1300
	高全 18	井上 洪太	816-0942	大野城市中央1-6-3	092-501-2292



会長 岡 久凱



副会長 陶山 雪代



副会長 渡辺美智子



副会長 永田 義信



副会長 和田 健作



副会長 鬼塚 春光

平成16年度同窓会総会が、7月11日(日)、福岡市のソラリア西鉄ホテルに約600名の同窓生及び恩師、来賓の方々のご出席を得て盛大に開催され、平成15年度決算報告と事業報告、平成16年度予算と事業計画が原案のとおり承認されました。また、新役員を選出・委嘱も行われ、平成17年度までの新体制が整いました。(総会で承認された平成15年度決算と平成16年度予算は、2ページに掲載しています。)

来年度の総会は、平成17年7月10日(日)に西鉄ソラリアホテルで開催!!



総会のアトラクションとして出演した吹奏楽部



大変盛り上がった総会終了後の立食パーティー

平成15年度 同窓会決算報告

○収入の部

費目	予算額	決算額	増減	備考
前年度繰越	635,951	635,951	0	
全日制会費	7,500,000	7,518,000	18,000	@ 500×1,253人×12月
全日制入会金	1,200,000	1,212,000	12,000	@3,000×404人
定時制会費	360,000	441,600	81,600	@ 300×122人×12月
定時制入会金	120,000	96,000	▲24,000	@3,000×32人
諸収入	10,000	25	▲9,975	利息
計	9,825,951	9,903,576	77,625	

○支出の部

費目	予算額	決算額	残額	備考
事務費	100,000	62,314	37,686	事務用品・消耗品・使用料
会議費	500,000	468,605	31,395	理事会等会議経費
旅費	600,000	363,000	237,000	理事会・東京支部等出席旅費
渉外費	120,000	105,000	15,000	交際、渉外費
慶弔謝恩費	50,000	6,000	44,000	会員、学校慶弔関係費
通信費	70,000	37,360	32,640	理事会等案内通信費
事業費	2,200,000	1,319,126	880,874	総会費、支部活動費、広告費
人件費	150,000	150,000	0	事務員賃金
補助金	4,000,000	4,000,000	0	(財)筑紫中央協会への運営補助、部活動指導手当等補助
積立金	1,800,000	2,500,000	▲700,000	積立金会計への繰り出し(入会金分を含む)
予備費	235,951	0	235,951	
計	9,825,951	9,011,405	814,546	

○ 総収入額 - 総支出額 = 残額
9,903,576円 - 9,011,405円 = 892,171円(翌年度へ繰越)

○積立金決算 平成14年度までの積立 25,702,526円(平成15年5月現在)
平成15年度分利息 4,252円
平成15年度分積立 2,500,000円
計 28,206,778円(平成16年5月現在)

平成16年度 同窓会予算

○収入の部

費目	平成16年度	平成15年度	比較	備考
前年度繰越	892,171	635,951	256,220	
全日制会費	7,500,000	7,500,000	0	@ 500×1,250人×12月
全日制入会金	1,200,000	1,200,000	0	@3,000×400人
定時制会費	432,000	360,000	72,000	@ 300×120人×12月
定時制入会金	90,000	120,000	▲30,000	@3,000×30人
諸収入	10,000	10,000	0	利息等
計	10,124,171	9,825,951	298,220	

○支出の部

費目	平成16年度	平成15年度	比較	備考
事務費	300,000	100,000	200,000	事務用品・消耗品
会議費	500,000	500,000	0	理事会等諸経費
旅費	500,000	600,000	▲100,000	理事会・各支部等出席旅費
渉外費	120,000	120,000	0	交際、渉外費
慶弔謝恩費	50,000	50,000	0	会員、学校慶弔関係費
通信費	50,000	70,000	▲20,000	理事会等案内通信費
事業費	1,700,000	2,200,000	▲500,000	総会費、支部活動費、広告費
人件費	150,000	150,000	0	事務員賃金
補助金	4,000,000	4,000,000	0	(財)筑紫中央協会への運営補助、会費修繕費補助等
積立金	2,500,000	1,800,000	700,000	積立金会計への繰り出し(繰越入会金相当額積立予定)
予備費	254,171	235,951	18,220	
計	10,124,171	9,825,951	298,220	

○積立金予算 平成15年度までの積立 28,206,778円(平成16年5月現在)
平成16年度積立て予定 2,500,000円
計 30,706,778円

大会終了後、勝原先生の7回忌を偲んで懇親会が行われ、ハンドボール関係者や筑紫中央高校関係者、それに卒業生が多数参加し、先生の思い出やハンドボール談議で多に盛り上がりました。福岡県ハンドボール協会篠崎省吾副会長は「勝原の名前を冠にした大会を開催してもらって、勝原先生は幸せやね。」と挨拶されたのが大変印象的でした。



大会は、近隣の中・高16チームと、今回初めて小学生の4チームを加えた20チーム250名の参加を得て行われました。

勝原ツタエ先生は、昭和23年本校に体育教師として着任してから退職するまでの31年間、男子・女子両ハンドボール部の監督として情熱あふれる指導で女子チームを3度インターハイへ導かれました。

平成10年4月に他界された勝原ツタエ先生が目指してあったハンドボールの普及を図るため、10月31日(日)に第3回勝原杯が開催されました。

勝原先生の7回忌を偲んで！

第3回勝原杯を開催

筑紫中央高校ニュース

－ 卒業生の進路状況 －

(1) 国公立大学

九州大学3名、長崎大学3名、佐賀大学3名、大分大学1名、宮崎大学1名、鹿児島大学2名、九州工業大学4名、福岡教育大学1名、福岡女子大学1名など

(2) 私立大学

早稲田大学2名、明治大学1名、学習院大学1名、立教大学1名、青山学院大学1名、日本大学2名、國學院大学1名、同志社大学5名、立命館大学5名、関西大学4名、関西学院大学2名、近畿大学6名、西南学院大学145名、福岡大学271名、久留米大学51名、中村学園大学21名、九州産業大学70名、筑紫女学園大学66名、日赤九州国際看護大学3名、産業医科大学1名、立命館アジア太平洋大学3名など

(3) 短期大学

中村学園大学短大部17名、筑紫女学園短期大学9名、香蘭女子短期大学12名など

(4) 専門学校

国立九州医療センター附属看護助産専門学校、福岡大学病院附属看護専門学校、麻生電子ビジネス専門学校など

(5) 文部科学省管轄外大学校

防衛大学校1名、海上保安大学校1名

難関「公・私立大学」編

この10年で伸びた地域別『ベスト300校』(サンデー毎日調べ)の九州地区1位に筑紫中央高校がランキングされる!!

部活動内容及び近年の実績

文化 部	部員数	活動日	活動内容・目標等	平成15年度 全 九 県
美術部	2	平日	文化祭高文連大会への出展	
書道部	10	平日	文化祭高文連大会への出展	○
演劇部	0	休部中		
文芸部	2	平日	小説・詩集等の製作	
クッキング部	25	毎月曜日	調理技術の習得	
科学部	0	平日	予定運命図模型作成	
写真部	2	毎日	各大会への出品	
映画研究部	0	休部中		
放送部	8	毎日	県大会出場	
茶道部	11	金曜日	茶道の修得、文化祭等への参加	
手芸部	9	火・木曜	文化祭出品	○
吹奏楽部	71	毎日	県大会出場、学校行事への参加	○
英語研究部	5			
漫画研究同好会	14	文化祭前	文化祭への出展	
ボランティア同好会	0		活動を通じて視野を広げる	
コンピュータ同好会	4	平日	パソコン全般、HP作成	

体 育 部	部員数	活動日	活動内容・目標等	平成15年度 全 九 県
柔道部	3	平日	精力善用	
剣道部	30	毎日	人間形成 自己鍛錬	○
陸上競技部	13	毎日	体力向上と技術革新	
新体操部	0			
水泳部	16	毎日	記録への挑戦	○ ○ ○
野球部	58	毎日	自己鍛錬 甲子園出場	
ソフトボール部	24	毎日	県大会全国大会出場	
ソフトテニス部(男子)	39	毎日	県大会出場	
ソフトテニス部(女子)	41	毎日	県大会出場	
卓球部	22	毎日	中部支部ベスト4 県大会出場	○
バレーボール部(男子)	11	毎日	中部支部ベスト8	
バレーボール部(女子)	28	毎日	県大会優勝	
バスケットボール部(男子)	32	毎日	2部リーグ昇格	
バスケットボール部(女子)	21	毎日	2部リーグ昇格	
ハンドボール部	12	平日	県大会出場	
ラグビー部	25	毎日	大会優勝に向けてチームワーク作り	
サッカー部	46	毎日	2部リーグ昇格、県大会出場	
弓道部	58	月～土曜	全国大会	○
バドミントン部	30	毎日	福岡県公立ナンバーワン	
ダンス部	25	毎日	卒都祭予餞会	
空手部	1	平日	精神鍛錬 技術の向上	○

筑紫中央高校の大躍進は、全国的に注目されています！

西南学院大学

福岡・福岡市 4,080人(15,451人)

① 春日(福岡)	192	⑤ 香住丘(福岡)	140
② ◎筑紫女学園(福岡)	191	⑦ 城南(福岡)	113
③ 筑前(福岡)	149	⑧ 筑紫(福岡)	107
④ 宗像(福岡)	143	⑨ 久留米(福岡)	100
⑤ 筑紫中央(福岡)	140	⑩ 新宮(福岡)	98

89人	福岡中央	(福岡)
77人	筑紫丘	(福岡)
75人	◎西南学院 ◎東福岡	(福岡)
73人	明善	(福岡)
68人	修猷館	(福岡)
64人	嘉穂	(福岡)
63人	八女 ◎中村学園女子	(福岡)
62人	伝習館	(福岡)
61人	◎福岡大付大濠	(福岡)

福岡大学

福岡・福岡市 推薦等+前期+センター 10,825人(39,982人)

① 筑前(福岡)	302	⑧ 香住丘(福岡)	200
② ◎福岡大付大濠(福岡)	299	⑨ 福岡中央(福岡)	199
③ 筑紫中央(福岡)	262	⑩ 城南(福岡)	190
④ 春日(福岡)	259	⑪ 朝倉(福岡)	178
⑤ ◎筑紫女学園(福岡)	219	⑫ 宗像(福岡)	168
⑥ 新宮(福岡)	216	⑬ 三池(福岡)	164
⑦ ◎東福岡(福岡)	209	⑭ 筑紫(福岡)	162
		⑮ 久留米(福岡)	156

144人	嘉穂	(福岡)
132人	小郡	(福岡)
126人	◎九州産大付九州	(福岡)
123人	◎中村学園女子	(福岡)
119人	伝習館	(福岡)
116人	武蔵台	(福岡)
112人	◎福岡舞鶴	(福岡)
110人	明善	(福岡)

「我が母校」筑紫中央高校に 赴任して

福岡県立筑紫中央高等学校
校長 加野 毅



昭和33年春、15歳の私の夢と希望と不安に満ちた筑紫中央での高校生活が始まりました。当時の筑紫中央高校はのどかな田園に囲まれた緑豊かな環境のなかで、ゆったりとした時間が流れていたように思います。3年間素晴らしい先生達と面白い仲間達に囲まれて楽しい青春時代を送っていました。小さい頃から体を動かすことが好きだった私は、中学時代は器械体操部に籍を置きオリンピック選手と体育の教員を夢見て頑張っていました。どうしたことでしょう、筑紫中央には器械体操部はありませんでした。呆然としてぶらぶらしている私に熱心に勧誘してくれ先生がいらつしやいました。剣道部の西田先生です。先生は、私将として活躍しているのを目にし

て私に声をかけられたのですが、あまり気が進みませんでした。しかし、あまりにも情熱的に何回も誘われるのでとうとう根負けして入部しました。不思議なものでこのことが私の一生を決定づけることになりました。剣道は初心者でしたので初めのうちは同級生にも全然歯が立ちませんでした。西田先生の熱心なご指導のお陰で3年の時には玉龍旗大会の大將を努めさせてもらいました。このとき、

かりは末っ子の有りがたさを感じました。兄弟は私を含めて3人ですが兄も姉も大学進学をあきらめ就職しました。母の気持ちとしては一人くらい大学にやりたいと思っていたのです。

たまたまいい結果がでたこともあり福岡大学剣道部からお誘いを受けました。わたしの夢はあくまでも日本体育大学に進み体育の教師になることでありましたのでお断りしたところ（その当時福岡大学には体育学部がありませんでした）、大学の剣道部のマネージャーが自宅を訪れ私の知らないところで母と入学の約束をしてしまったのです（ちなみに私の家庭は母子家庭で女で一つで3人の子供を育ててくれました）。母の苦勞を見てきた私は逆らうことができず福大に入學しましたが、どうしても夢を断ち切れず、3ヶ月通っただけで、母に無断で大学に退学届けを出してしまいました。改めて母にどうしても日体大に行きたい、体育の教師になりたいと頼んだところ、そんなに言うなら仕方がないと認めてくれました。このときば

昭和40年4月、母や兄弟の支援を受け日本体育大学武道学科に無事入学することができ剣道部合宿所に入りましたが、その厳しさは想像を絶するものがありました。同級生の中には夜逃げして二度と戻らぬものが何人も出るほどでした。背水の思いで上京した私は何とか4年間で卒業することができました。幸いにもその年に福岡県高校教員として採用されて北九州の八幡南高校の体育の教員として赴任いたしました。そして4年

が経過した時、思いがけず母校筑紫中央からの誘いがありました。昭和58年4月に着任いたしました。その人事には恩師勝原先生のご配慮があったと聞いています。

筑紫中央には私の在学当時の恩師が沢山おられ、特に当時担任であった石井先生（この先生のお陰で卒業できました）、先輩である藤智恵先生、山本雄三先生、山本芳昭先生、渡辺正先生等に叱咤激励されながら努めて参りました。以来、8年間在職いたしました。徒指導・部活動指導等に全力を尽

くしてきたつもりでしたが今思えば本当に未熟でわがまま者であつたと赤面の至りであります。しかしながらその未熟者を陰になり日向になりご指導・ご支援頂いた先生方がおられたからこそ努められたと思つていきます。特に、体育科の勝原先生は我が恩師であり人生の師でありました。時には優しく時には厳しくいつも慈愛に満ちたご指導を頂きました。先生は生涯、筑紫中央高校だけの勤務でありました。筑紫中央をこよなく愛し、筑紫中央の生徒を慈しみ励ましてこられました。私にとつて將に第2の母と言うべき人でした。残念ながら7年前帰らぬ人となられました。私が、今年校長としてこの学校に赴任したとき最初に思ったのは、「勝原先生がいてくれたらな」と言うことでした。そのことだけが残念でたまりません。

今、筑紫中央高校は昇竜の勢いで伸びています。これは歴代校長先生を初め、諸先生方、同窓会の皆様方、保護者会・地域の皆様方のご指導・ご支援のお陰だと思つていきます。この勢いを止めることなく更に向上させることが私の責務だと痛感しています。微力ながら力の限り努めさせて頂きます。今後ともさらなるご支援をお願いします。